

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイト等に記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	井野 胡花	学年(渡航時)	3 年
派遣先大学	ライデン大学		
国・地域	オランダ		
派遣期間	2024 年 8 月 ~	2025 年 7 月	

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Dutch: Writing/Grammar 1A	オランダ語のライティング、文法について学ぶ授業
Dutch Painting 1400-1950	オランダに関わる歴史的な絵画についての授業
Dutch Debates SCH	オランダ、ヨーロッパの社会問題について英語でディスカッションする授業
Culture and Society of the TEN	オランダの文化・社会についての英語での授業
Speaking/Listening 1A, Lan TEN	オランダ語のスピーキング、リスニングについて学ぶ授業
2 学期目	
履修科目	授業内容
The Netherlands in Dutch Films	オランダの映画の表象するオランダ社会についての授業
Dutch: Speaking/Listening 1B TEN	オランダ語のスピーキング、リスニングについての授業
Dutch: Writing/Grammar 1B TEN	オランダ語のライティング、文法についての授業
Dutch: Reading/Vocabulary 1B	オランダ語のリーディング、語彙についての授業

留学レポート(1,500 字以上)

私は、オランダ特別コースの交換留学プログラムを通して、オランダのライデン大学に留学しました。主な目的は、オランダ語に加え、オランダの歴史や文化を学ぶこと、また現地のオランダ人との交流を深めることでした。さらに、卒業研究の一環としてオランダの教育について調査すること、第二言語を英語とする国の中でも英語能力が非常に高いと言われるオランダで、自分の英語力も向上させることを目指していました。

ライデン大学での授業では、日本の大学とは大きく異なっており、出席点という概念がなく、すべてが自分の努力と実力によって評価されます。授業ではグループディスカッションや個人発表が多く、積極的に参加する姿勢が常に求められました。実際にオランダの街を探索し、その体験をポスターや YouTube ビデオにまとめて発表するなど、アクティブ・ラーニング型の授業が中心で、実戦的な力が問われる環境でした。

試験も、単なる暗記では通用しない、応用力や論理的思考が求められる問題が多く、自分でしっかり理解し、表現できる力がなければ太刀打ちできませんでした。正直、留学当初はそのような学び方に慣れておらず、真剣に取り組んだレポートが合格点に届かず、やり直しになったこともありました。反対に、あまり勉強できていなかった科目では、やはりその努力不足がそのまま結果に表れました。これらの経験は、自分の学習スタイルや学問への姿勢を見直す大きなきっかけとなり、「勉強は評価されるためではなく、自分の知識として蓄え、活かすためのもの」だと心から感じるようになりました。結果として、勉強することそのものが楽しくなり、学びに対する意識が大きく変わったと感じています。

また、授業以外でも、私は卒業研究のテーマである「マルチリンガル家庭における家庭内言語教育」に関する調査を進めることができました。日本人とオランダ人の夫婦で構成される 5 組のマルチリンガル家庭にインタビュー

を行い、実際に週 1 回ベビーシッターとして家庭の中で過ごす機会も得ました。これは、日本ではなかなかできない貴重な経験でした。

さらに、ライデン大学の日本語学科の学生を対象にした日本語会話クラブの運営にも携わりました。現地のオランダ人学生との交流を通して、異文化コミュニケーションの難しさや面白さを日々実感しました。また、ホームパーティーやピクニックなど、現地の学生や他国からの留学生との日常的な交流にも積極的に参加し、授業外でも多くの学びを得ることができました。

私が住んでいた学生寮は、10 か国以上から集まった 25 人の学生とシェアする形式で、日常的に英語や時にはオランダ語を使ったコミュニケーションをとる環境が整っていました。ハウスメイトたちと旅行に出かけたこともあり、最終的には 10 か国以上を訪れる機会にも恵まれました。特に印象的だったのは、モロッコ出身の友人との交流で、家に招かれ、初めてイスラム文化を身近に体験することができたことです。宗教や文化的背景の違いに触れたこの体験は、私の視野を大きく広げてくれました。

振り返ってみると、今回の留学は、自分が当初想像していた以上に、様々な国籍・文化的背景を持つ人たちと交流ができ、語学面でも大きな成長を実感することができました。特にオランダ語と英語の両方を日常的に使う環境に身を置いたことで、語学を「使えるスキル」として定着させることができたと思います。

一方で、学業面では反省も多く、もう少し計画的に学習を進めるべきだったと感じています。この反省を糧に、今後は日本においても自らの目的意識を持ち、継続的かつ主体的に学び続けたいと思います。留学を通して得た経験と成長を、今後の進路や人生にしっかり活かしていきたいです。

留学中の写真(5 枚程度) ※写真のキャプションも入れること



モロッコ人の友人のお母さんに、
イスラム教のドレスをもらった時の写真



日本語会話クラブのメンバーと、
ライデン大学のボタニカルガーデンでピクニック



オランダ人の友達の誕生日パーティー



オランダ人、日本人の友達と Keukenhof



オランダ人の家族の誕生日パーティー